

◆男女平等分野

番号	質問内容	回答
①	6次基本計画から5年が経過し、その間の現況と課題はどのように変化したか。	<p>令和3年度に実施しました男女平等参画の市民意識調査結果と平成27年度の前回調査を比較しますと、男女が平等ではないと気づく方が多くなっており、男女平等参画に関する言葉についても見聞きしたことがある方が多くなっています。</p> <p>また、「男は仕事、女は家庭」といった家庭における性別による役割分担意識も改善されつつあり、男女平等参画に対する意識が高まっていることが伺えます。一方で、保護者が子どもに接する時や企業内においては、性別による固定的役割分担意識が根強く残っている結果となりました。今後はこの部分について、意識を変えていく必要があると考えております。</p>
②	審議会委員の女性委員の比率の実態を確認したい。同一委員の重複参加はないのか？あったとしたら現状を数字で示してほしい。	<p>女性委員の登用率は以下のとおりです。 (各年4月1日現在)</p> <p>令和4年：28.9%、令和3年：29.4%、 令和2年：28.8%、平成31年：27.1% 平成30年：26.9%</p> <p>委員の重複は以下のとおりです。</p> <p>2つ重複している委員：23名 3つ重複している委員：10名 4つ重複している委員：1名 5つ重複している委員：3名</p>
③	<p>苫小牧市の女性市議会議員の数は少なすぎる（定員28人に対し、女性は4人、14%）、</p> <p>【他市の状況を調査して比較しているか】【現状に対する市としての捉え方】また【それに関する方策】などの考えを聞きたい。</p>	<p>令和3年12月31日時点で全道179市町村中第62位と女性議員の数が少ないことを認識しております。昨年度は、女性議員を増やすための取組としまして、男女平等参画を推進するためのイベント「自分らしさ応援EXPO」のなかで、「女性議員のリアル」と題しまして、啓発動画を配信しました。今後も引き続き、女性議員を増やすための啓発活動を行ってまいりたいと考えております。</p>

事前質問への回答

番号	質問内容	回答
④	「男女平等参画都市」を宣言して10年を迎えるが、市民が理解して行動できるように行政として続けてきていることは何か？宣言をした市として他市とは違う特徴は何か？	<p>これまでも平成29年度には日本女性会議を実施し、平成30年度からは市長が座長となり、市民団体、企業、行政のそれぞれが情報を共有し、男女平等参画について、一丸となって推進していく苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議を実施してまいりました。</p> <p>これらの取組につきましては、本市の特徴的な取組であると考えております。</p> <p>なお、苫小牧市男女平等参画を推進する市民会議につきましては、令和4年度からは市長とジェンダーミーティングと名前を変えて新たな取組を行う予定となっております。</p>
⑤	「パートナーシップ制度導入へ、性的少数者への支援促進目指す」との議会の新聞報道があったが、この計画の何処に位置づけるのか。	<p>パートナーシップ制度導入の部分につきまして、第7次基本計画では、「市民によるまちづくりの推進 運営方針03 男女平等の推進」の主な取組として組込むことを考えております。</p>

◆福祉分野

番号	質問内容	回答
①	最上位計画である総合計画と他の個別計画の期間が必ずしも一致していないがその考え方は。	<p>本市では、多くの個別計画が運用されており、計画期間や見直しのタイミングは様々ありますが、全ての個別計画は総合計画に示す方向性に沿った形で策定されており、整合性はとれております。</p> <p>新たな総合計画の策定により、その方向性と整合性がとれなくなった個別計画があった場合には、速やかに個別計画の見直しを行い、整合性を確保していくこととなります。</p>
②	地域福祉計画について調整するつもりはないか	<p>今回の地域福祉計画については、総合計画と整合性が保たれるように作成されており、調整の必要性はないと考えております。なお、現在作成中の第7次基本計画との整合性が取れないようなことが生じた場合は、その時に調整を行うこととなります。</p>